



2017年9月期

決算補足説明資料

2017年11月10日 株式会社フィックスターズ（東証一部3687）



本資料に記載の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報および仮説に基づき当社が判断したものであります。当該仮説や判断に含まれる不確定要素や事業環境の変化による影響等の様々な要因により、実際の業績等は本資料記載の業績予想とは異なる場合があります。あることをご承知おきください。

1. 2017年9月期 通期決算説明
2. 2018年9月期 通期業績予想

1. 2017年9月期 通期決算説明
2. 2018年9月期 通期業績予想



# 2017年9月期 通期 決算発表サマリ

## 業績

- 売上、利益ともに期初予算を達成し、過去最高を更新  
売上高： **4,450百万円**（前期比 **+9.5%**、予算比 **+1.1%**）  
営業利益： **835百万円**（前期比 **+17.5%**、予算比 **+4.4%**）
- 利益増に合わせ、一株当たり配当金を23円から25円に増配

## セグメント

### ソフトウェア ・ サービス

- フラッシュメモリ関連サービスが安定して業績に寄与
- 自動運転関連の引き合いが増加。アルゴリズム開発から実装まで、幅広くサービスを提供
- 採用活動に注力し採用状況が一部好転。エージェントフィーやインターン関連費用が増加して利益率を圧迫

### ハード ウェア 基盤

- 画像処理プロセッサ搭載演算ボードが期初予想より上振れ
- SSD事業を廃止し、よりソフトウェア技術が活きる大容量高速ストレージ・サーバ“Olive”に注力。廃止に伴いSSD事業関連の特別利益・損失を計上



# 2017年9月期 通期 決算概要：損益計算書

売上、利益ともに期初予算を達成し、過去最高を達成  
ハードウェア基盤事業が伸長し売上及び利益増に寄与

(単位：百万円)

項目	前期	当期	前期比 増減額	前期比 増減率	通期業績予想
売上高	4,063	4,450	+386	+9.5%	4,400
営業利益	710	835	+124	+17.5%	800
売上高 営業利益率	17.5%	18.8%	+1.3%	-	18.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	516	557	+41	+8.1%	529
売上高 当期純利益率	12.7%	12.5%	▲0.2%	-	12.0%



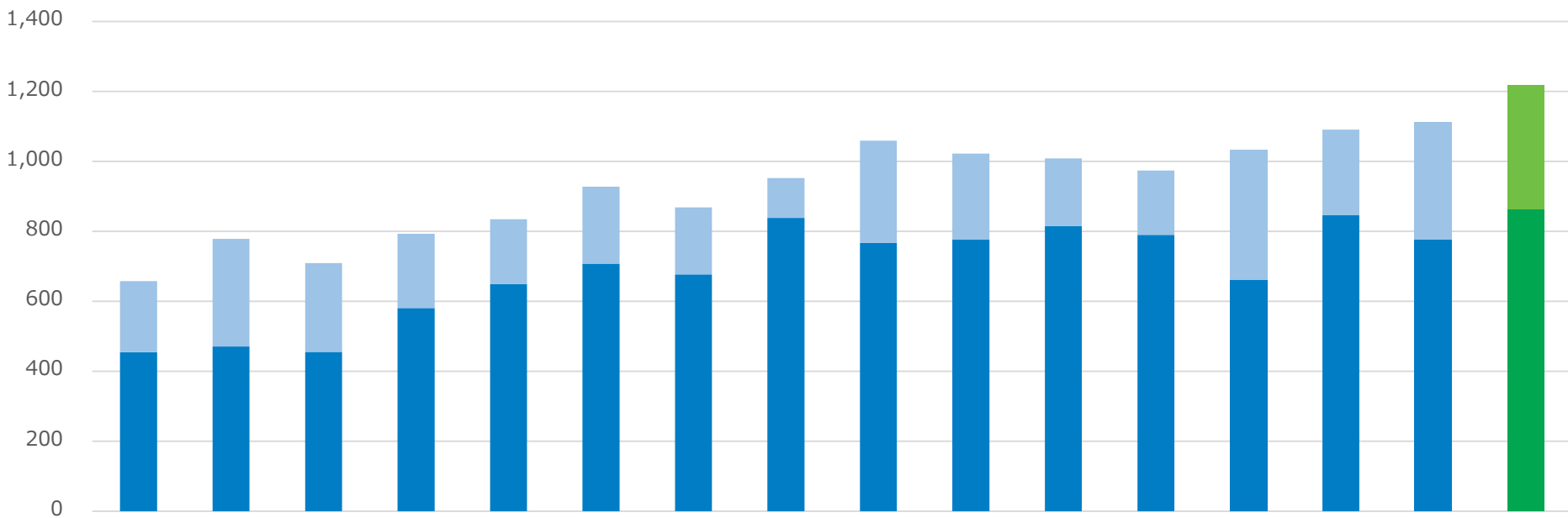
# 業績：売上高

累計実績：4,450百万円（前期比 +9.5%）

ハードウェア基盤事業が上振れし、過去最高の四半期売上を達成

## 四半期売上高の推移

（単位：百万円）



	FY2014				FY2015				FY2016				FY2017			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
ハードウェア	202	307	253	212	185	219	191	113	292	246	193	183	370	243	334	353
ソフトウェア	454	470	455	580	649	707	676	838	766	776	815	790	661	846	776	863
合計	657	778	708	793	834	927	868	952	1,059	1,022	1,008	973	1,032	1,090	1,110	1,216



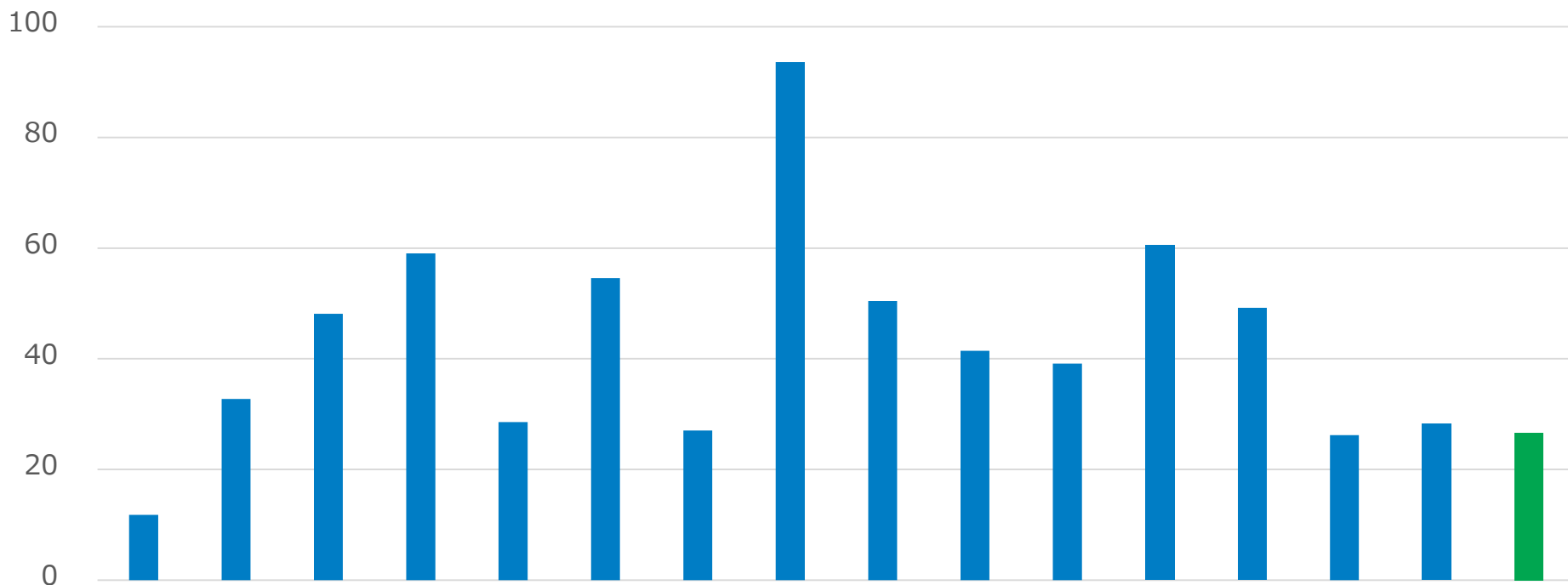
# 業績：研究開発費

累計実績：130百万円（前期比 ▲32.0%）

大容量高速ストレージ・サーバ関連の投資が一服し前期比で大きく減少

## 四半期研究開発費の推移

（単位：百万円）



	FY2014				FY2015				FY2016				FY2017			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
研究開発費	11	32	48	59	28	54	27	93	50	41	39	60	49	26	28	26



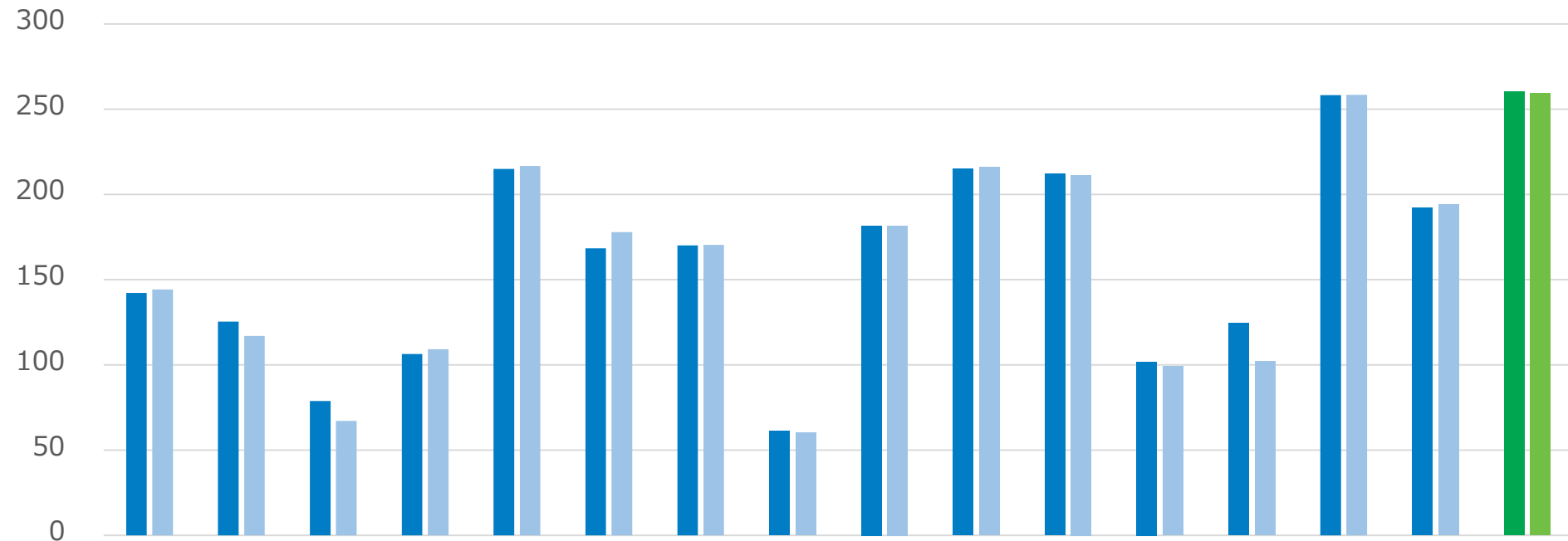


# 業績：営業利益・経常利益

ソフトウェア開発案件の売上計上タイミングにより四半期増減が発生  
採用関連費用等の増加を研究開発費の減少で相殺

## 四半期利益の推移

(単位：百万円)



	FY2014				FY2015				FY2016				FY2017			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業利益	142	125	78	106	214	168	170	61	181	215	212	101	124	258	191	260
経常利益	144	116	67	109	216	177	170	60	181	215	211	99	102	258	194	259



# 業績：特別利益・特別損失の計上

SSD事業の廃止に伴い特別利益・特別損失を計上

SSDの販売は終了し、大容量高速ストレージ・サーバ“Olive”に注力

## SSDシリーズ



## “Olive”



価格

コモディティ化

高付加価値

販売方法

単品販売

ソリューション販売

主な顧客

データセンタ等新規顧客

製造業等従来顧客

SSD事業を廃止し、“Olive”に注力

- ・ SSD事業を主軸に資本業務提携を行っているアバーラデータ社株式を一部売却（特別利益として計上）
- ・ SSD在庫の評価損や製品保証用引当を計上（特別損失として計上）

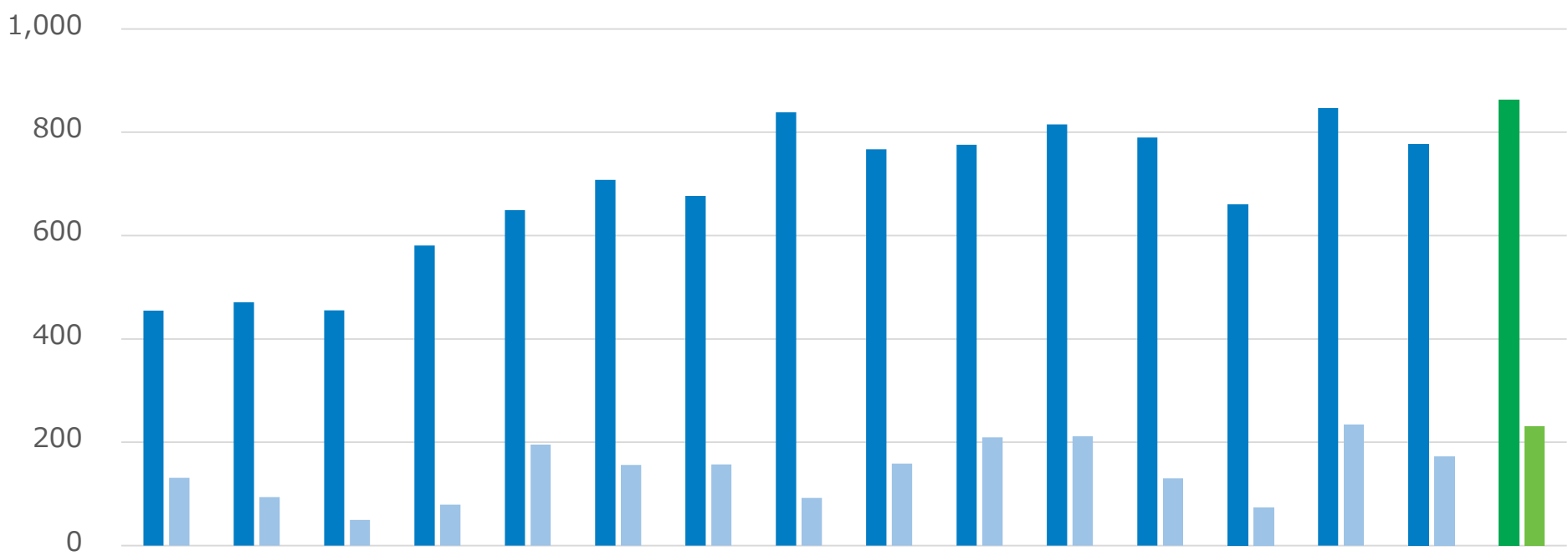
# 業績：ソフトウェア・サービス事業

売上高累計：3,147百万円、 利益累計：711百万円

自動運転関連を中心に旺盛な引き合いがあるも社員採用に苦戦し伸び悩み

## 業績の推移

(単位：百万円)



	FY2014				FY2015				FY2016				FY2017			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	454	470	455	580	649	707	676	838	766	776	815	790	661	846	776	863
利益	130	93	49	79	195	156	157	92	158	209	211	130	73	234	172	231



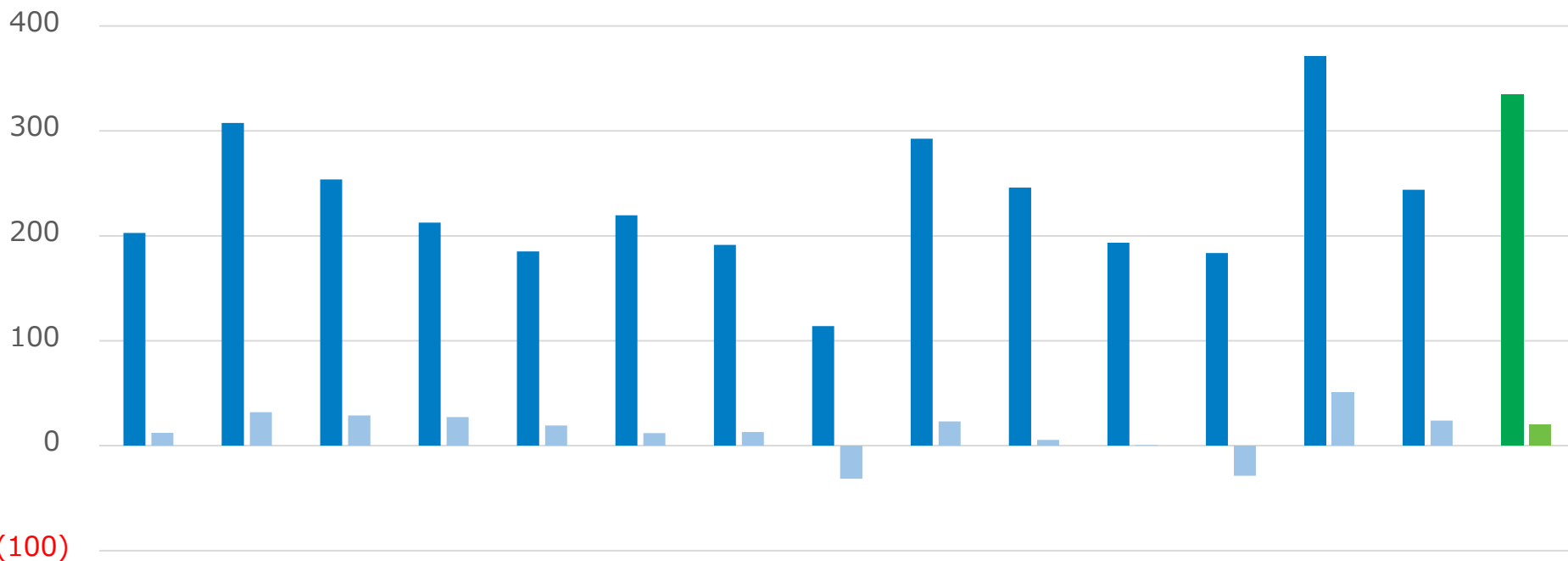
# 業績：ハードウェア基盤事業

売上高累計：1,302百万円、 利益累計：123百万円

画像処理プロセッサ搭載演算ボードが年間を通して大きく上振れ

## 業績の推移

(単位：百万円)



(100)

	FY2014				FY2015				FY2016				FY2017			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	202	307	253	212	185	219	191	113	292	246	193	183	370	243	334	353
利益	12	31	28	27	19	12	13	▲31	23	5	0	▲28	50	24	19	29

# 既存事業：高速化ソリューションの拡がり

自動運転関連を中心に旺盛な引き合いが継続

ハードウェア提供につながるトータルソリューション案件も進行

## 自動運転

研究開発段階のアルゴリズム開発から実装まで、幅広く引き合い増加

## フラッシュメモリ

引き続き安定した需要。顧客製品ラインナップ拡充に順次対応

## 産業機器

製品開発時からソフトウェア・サービスを提供し、一部案件で量産段階に入りハードウェア提供も期待

## 金融

従来のデリバティブ関連に加え、FPGAを用いたHFT関連の案件も開始

## 医療

顧客製品の売上好調に支えられ、画像処理プロセッサ搭載演算ボードが堅調

## AI

実行環境毎の深層学習用フレームワークの高速化など、幅広くサービスを提供

ソフトウェア・サービス



ハードウェア提供



# 新規事業：AIベースのPJマネジメントシステム「helmi」

AIによりプログラミングコードの不具合推定を行い、ソフトウェア開発プロジェクトの品質向上を実現

## プロジェクトマネジャーの悩み

エンジニア毎の生産性  
評価が難しい

エンジニアのリソースが  
バグ出しに取られる

コードのどこを重点的にレ  
ビューすれば良いかわからない

フィックスターズとSHIFT社の合併会社「アイ・イー・テック」による  
AIベースのプロジェクトマネジメントシステム「helmi」

フィックスターズの  
AI技術&ソフトウェア開発技術

SHIFT社の  
ソフトウェアテストノウハウ



# 新規事業：「Halide to FPGA」 (β版) のオープン

FPGA IPコアの開発期間を1/10と大幅に短縮することにより、IPコアの開発手法にイノベーションを実現

サービス  
対象

低遅延、大量データ処理を求められる分野

自動運転

金融

産業機器

ドローン

etc...

FPGAをより手軽に、より効率的に利用したい製品開発者

当社  
ソリューション

IPコアのカスタマイズサービス

IPコアの提供

HalideコードのIPコア化サービス

独自技術「Genesisコンパイラ」

# 新規事業：量子コンピューティング事業の進捗

企業や研究者等、国内キープレイヤーとの連携構築  
情報発信を積極的に行い、様々な産業分野からの引き合いが増加

量子アニーリングマシン等のハードウェア



大学等研究機関

統計物理学などにおける知見



フィックスターズ

引き合いのある  
主な産業分野

金融

製造業

医療

D-Wave社と提携し、量子コンピューティングソリューションに関するコンサルティングを提供



1. 2017年9月期 通期決算説明
2. 2018年9月期 通期業績予想

## 業績

- 売上、利益ともに**過去最高**の予想  
売上高： **4,600百万円**（前期比 **+3.4%**）  
営業利益： **880百万円**（前期比 **+5.4%**）
- 事業拡大に伴い上期にオフィスの増床を予定。費用が先行し、利益を一部圧迫

## セグメント

ソフトウェア  
・  
サービス

- 自動運転関連を中心に既存事業の安定成長を実現
- 採用状況の一部好転により、期初時点で前年度よりも事業規模が拡大。売上の底上げに寄与
- 「helmi」や「Halide to FPGA」を通し、ストック型ビジネスを構築

ハード  
ウェア  
基盤

- 医療機器向け画像処理プロセッサ搭載演算ボードが堅調
- ソフトウェア開発と組み合わせたソリューションを提供。顧客の量産体制入りに合わせ、新規ハードウェア提供を予定



## 2018年9月期 業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2018年9月期 業績予想	4,600	880	877	590
2017年9月期 実績	4,450	835	813	557
増減率	+3.4%	+5.4%	+7.9%	+5.8%

## 配当予想

	1株当たり 年間配当金	1株当たり 当期純利益	配当性向
2018年9月期 予想	26円	88円97銭	29.2%
2017年9月期 実績	25円	83円23銭	29.7%
2016年9月期 実績	23円	77円33銭	29.9%



ソフトウェア技術を通じて  
全社員の幸福および全てのお客様の成功を追求し、  
フィックスターズの技術を活かして  
全世界のしあわせ向上に貢献すること

ありがとうございました